

病理の視点から学ぶ；腫瘍内微小環境におけるマクロファージの役割 —基本から最近の話題まで



こも はら よし ひろ

菰原 義弘 先生

熊本大学 大学院生命科学研究部
細胞病理学講座 教授

2026年10月2日(金) 17:00-18:30

金沢医科大学医学教育棟3階 病理診断室

またはオンライン (WebEx)

【参加申込フォーム】

※10月1日締切



ご略歴

2000年 熊本大学医学部医学科卒業
2005年 熊本大学大学院医学研究科卒業(病理学第二)
2005年 久留米大学先端がん治療研究センター(免疫学)研究員
2007年 熊本大学大学院生命科学研究部細胞病理学(助教)
2011年 熊本大学大学院生命科学研究部細胞病理学(講師)
2014年 熊本大学大学院生命科学研究部細胞病理学(准教授)
2021年 熊本大学大学院生命科学研究部細胞病理学(教授)

担当：金沢医科大学 臨床病理学
山田 壮亮 教授

問合せ先：金沢医科大学 学事部大学院課
kmug-pro@kanazawa-med.ac.jp

近年、がんに対する免疫療法が多数の診療科で行われるようになり、がんに関わる医療関係者はがん免疫の理解が必要となっています。本セミナーでは私たちが取り組んでいるマクロファージを中心としたがん微小環境の研究に関して紹介します。山田壮亮教授との共同研究で進めている肝芽腫に関する最新の研究結果も報告します。